雑 錄 Miscellaneous

○つくしがや北進

つくしがや (*Chikusichloa aquatica* KOIDZUMI) ノ原籍ハ肥後南部ノ球磨地方デ、前原勘次郎氏ノ發見サレタモノヲ小泉博士ガ檢シテ禾本科ノ新屬新種トナシ、前記ノ學名デ 1925 年植物學雜誌上ニ發表サレタモノデアル。小穗ノ構造ガ非常ニ特異デ新屬ハ勿論、寧ロ其レ以上ノ大群ヲ代表スルモノトシテ私ハ假ニきび族中ノ一新亞族ヲ設ケテ見タガ、尙コノ事ニ關シテハ研究ノ餘地ガアルモノト信ズル。ソレハソレトシテ其ノ產地ニ就テハ私ハ其後間モナク正宗嚴敬氏ガ薩摩國山野デ採ラレタコトヲ知ツタ。所ガ 1931 年ニ書カレタ支那南京大學ノ耿以禮氏ノ論文ヲ見ルト本種ガ支那東南部ニ產スル事ガ分リ、つくしがやノ海外進出ノ事實ガ明カトナツタ。同時ニ本屬ノ他ノ一新種 *C mutica* KENG ガ支那西南部ノ高地ニ產スルコトガ報ゼラレ、玆ニ本屬ノ異常ナ躍進振リヲ示ス事ニナツタガ、コノつくしがや屬ノ海外發展振リニ關シテハ當時某雜誌上ニモ紹介シテ置イタ。然ルニ最近又々つくしがやガ筑紫ノ果ヲ離レテ遙カ北ノ方山形縣ニ產スル事ヲ知ツタ。場所ハ同縣東置賜郡小松町附近デ加藤元助氏ノ採集ニカカリ、寺崎留吉氏ヲ介シテ其ノ標本ヲ實見スル機會ガ與ヘラレタ次第デアル。此ノ新產地ハ或ル意味ニ於テハ本種ガ支那ニ發見サレタ以上ニ興味アル事實カモ知レヌ。最後ニ標本ヲ分與サレタ寺崎留吉氏ニ對シテ厚ク感謝ノ意ヲ表スル。

以上ハ大井次三郎氏ガ「植物分類地理」第四卷第四號（昨年十二月）第二三〇頁デ報ゼラレタ事ト偶然其ノ內容ガ一致シタ事ヲ附記シテ置ク。 (本田正次)

○わたがやノ學名變ハル

熱帶亞細亞ニ廣ク分布シ、我ガ臺灣ニモ產スル禾本ノ一種わたがやハ *Spodiopogon angustifolius* TRINIUS (1833), *Pollinia eriopoda* HANCE (1866). *Ischæmum angustifolium* HACKEL (1889) 等ト呼バレテ來テ居タガ、私ハ曾テコレニ對シテ新屬 *Eulaliopsis* ヲ建テテ學名ヲ *Eulaliopsis angustifolia* HONDA (1924) ニ改メタ事ガアル。然ルニ最近英國ノ C. E. HUBBARD 氏ハ本種ニ與ヘラレタ最古ノ學名 *Andropogon binatus* RETZIUS (1789) ノ種名ヲ生カシテ新ニ *Eulaliopsis binata* C. E. HUBBARD (1935) ト云フ學名ヲ制定發シ表シタ。私ノ新屬ノ正式ニ發表サレタノハ 1924 年ノ 3 月 20 日デアリ、私トハ別途ニ英國ノ STAPF 氏ハ私ト同見解ノ下ニ *Pollinidium* ト云フ新屬ヲ 1924 年ノ 3 月 28 日ニ發表シタガ、僅カニ 8 日私ヨリ遲レタ爲ニ屬名トシテハ私ノ *Eulaliopsis* ガ採用サレル事ニナツタ。

(本田正次)

○みやまだいこんさう屬

みやまだいこんさうハ最初だいこんさう屬 (**Geum** L.) ニ入レラレタガ、だいこんさうデハ花柱ノ上部ガ∽狀ニ曲ツテ關節ガアリ、先ノ柱頭ヲ持ツタ部分ハ果實ニナルト脫落スルガみやまだいこんさうデハ花柱ハ眞直デ全ク關節ガナイ。コノ點ニ注意シテ ROBERT BROWN ハ花柱ニ關節ノナイ類ヲ皆 **Sieversia** WILLDENOW ニ移シ、其後 CHAMISSO,